



目黒南中だより

令和8年度 第3号

令和8年6月1日発行

目黒区立目黒南中学校



目黒南中学校ホームページ

【教育目標】 自立 協創 信頼

時を大切に ～自分と相手を大切に～

校長 金子弘樹

「17時、到着チェックを全ての班が完了。」

令和8年5月17日から2泊3日で、3年生が修学旅行を行いました。2日目は生徒が楽しみにしていた京都市内の班別行動。スローガンにある「ルールを守って、…」のルールの一つが「時間を守る」。時間を守る意識があったり、時間を守ることは大切だと思っていたりしても、実行するのは難しいものです。その日の交通事情や天候、イベント、道路工事など自分たちでは対応仕切れない状況もあります。様々な懸案が考えられる中ではありましたが、3年生は時間を守ることに對して意識を高くもって京都市内を巡り、歴史を体感していました。2日目の宿集合は16時45分から17時10分。無事に戻ることを願う中、全ての班が17時には宿に戻り、安堵感とともに笑顔で到着チェックを受けることができました。



6月10日は「時の記念日」。

「時の記念日」は、天智天皇が現在の暦で671年6月10日に漏刻（水時計）で時を計り、人々に時を知らせたことに由来します。「時の記念日」が制定されたのは1920年です。（明石市立天文科学館）

「時は金なり」「若き時の学びは後の宝」「一刻千金」など「時間」に関することわざや言葉は数多くあります。また、「時間は同じだが、感じる長さは異なる」「時間は平等に与えられるが、結果は平等ではない」など名言もたくさんあります。日本人の時間に対する正確性は世界的にも定評があり、学校生活でも「5分前行動」がよく使われていますが、時間に対する考え方は多様化しています。

「時間を守る」は計画的に活動することや学習することにつながります。また、時間を意識して行動することによって、ゆとりが生まれ、状況の変化に柔軟に対応することができるようになります。「時間を守る」は自分と相手を大切にすることであり、相手の時間も守り、相手を尊重することでもあります。さらに、相手との約束の時間を守ることは信頼や信用にもつながり、よりよい人間関係や将来の社会生活を構築する力にもなります。～ふれあい月間の6月～時を大切に、自分と相手を大切に！